

平成 19 年度障害者自立支援調査研究プロジェクト 事業実施報告概要

事業名	多職種共同チームによる精神障害者の地域包括インテンス ブ・ケア・マネジメントモデル事業
事業目的	本事業は精神看護専門看護師の配置され事業に同意の得られている 2 か所の精神病院にて退院後 3 か月未満に再入院を繰り返す統合失調症 ならびに失調症性感情障害患者 33 名に医療と福祉を統合した退院支 援ケア・パッケージを作り、それを含む集中型包括型ケア・マネジネ ントモデル事業を実施し、その評価を、病状、日常生活機能、ケア満 足度、再入院率の視点から評価を行い、再入院を繰り返す患者への支 援システムを開発することを目的とした。本事業を行うことで、再入 院を繰り返す患者への医療と福祉を統合した支援モデルが明確にな るであろう。
事業概要	本事業は関西と九州の 2 つの精神病院にて退院後 3 か月未 満で再入院してきた統合失調症および失調症性感情障害患 者 33 名に対し地域包括インテンスブ・ケアマネジメントを 実施し、その評価を行うことを目的とした。また過去 1 年間 に再入院してきた患者群との特徴を比較し、今回の事業の評 価を行った。
事業実施結果 及び効果	精神看護専門看護師の存在する上記 2 つの精神病院にて退 院後 3 か月未満で再入院してきた統合失調症および失調性 感情障害患者 31 名(介入群)に医療と福祉サービスを統合し た退院支援ケア・パッケージとそれを含む集中型包括型ケ ア・マネジメント事業を実施し、介入前、介入後、退院 3 か 月後に病状、日常生活機能、ケア満足度を BPRS, GAD, LSP, CSQ, 3 ヶ月間の再入院日数を用いて事業の評 価を行った。また事業の内容を質的に分析し、再入院する患 者への必要な支援内容を抽出した。またこれらの結果を過去 1 年間の再入院を繰り返す患者 47 名(対照群)と比較した。介 入群において介入後および退院 3 か月後に病状、日常生活機 能、ケア満足度とも改善がみられ、退院 3 か月間再入院はみ られなかった。対照群との比較では対照群の病状が介入群よ りやや軽く、薬物使用料量も少なかった。また介入内容とし ては病状と家族への支援、近隣との関係に焦点をおいた介入 が多かった。これらの結果からこれまで再入院を繰り返す患 者といわれていた患者は、精神看護専門看護師をケア・マネ ージャーとする精神科ケアマネジメントチームの構築によ

	<p>って再入院を軽減することが可能であると考えられた。これらの事業成果を報告書およびCDに作成して全国精神病院910個所に配布した。また日本専門看護師協議会のホームページをたちあげ、普及目的として掲載を行った。これらの結果は再入院を繰り返す精神障害者への支援モデルとなるだろう。</p>
<p>事業主体</p>	<p>日本専門看護師協議会 代表：野末聖香（慶應義塾大学看護医療学部教授） 事務局：宇佐美しおり（熊本大学医学部保健学科教授）</p>

平成 19 年度障害者自立支援調査研究プロジェクト 事業実施報告概要

事業名	病状が不安定な精神障害者の自立支援における退院支援ケア・パッケージ作成とパッケージを含む集中型包括型ケア・マネジメントモデル事業の有効性の検討
事業目的	本事業は精神看護専門看護師の配置され事業に同意の得られている 2 か所の精神病院にて退院後 3 か月未満に再入院を繰り返す統合失調症ならびに失調症性感情障害患者 33 名に医療と福祉を統合した退院支援ケア・パッケージを作り、それを含む集中型包括型ケア・マネジメントモデル事業を実施し、その評価を、病状、日常生活機能、ケア満足度、再入院率の視点から評価を行い、再入院を繰り返す患者への支援システムを開発することを目的とした。本事業を行うことで、再入院を繰り返す患者への医療と福祉を統合した支援モデルが明確になるであろう。
事業概要	本事業は関西と九州の 2 つの精神病院にて退院後 3 か月未満で再入院してきた統合失調症および失調症性感情障害患者 33 名に対し地域包括インテンスブ・ケアマネジメントを実施し、その評価を行うことを目的とした。また過去 1 年間に再入院してきた患者群 47 名との対象者の特徴を比較し、今回の事業の評価を行った。
事業実施結果及び効果	精神看護専門看護師の存在する上記 2 つの精神病院にて退院後 3 か月未満で再入院してきた統合失調症および失調症性感情障害患者 31 名(介入群)に医療と福祉サービスを統合した退院支援ケア・パッケージとそれを含む集中型包括型ケア・マネジメント事業を実施し、介入前、介入後、退院 3 か月後に病状、日常生活機能、ケア満足度を BPRS, GAF, LSP, CSQ, 3 ヶ月間の再入院日数を用いて事業の評価を行った。また事業の内容を質的に分析し、再入院する患者への必要な支援内容を抽出した。またこれらの結果を過去 1 年間の再入院を繰り返す患者 47 名(対照群)と比較した。介入群において介入後および退院 3 か月後に病状、日常生活機能、ケア満足度とも改善がみられ、退院 3 か月間再入院はみられなかった。対照群との比較では対照群の病状が介入群よりやや軽く、薬物使用料量も少なかった。また介入内容としては病状と家族への支援、近隣との関係に焦点をおいた介入が多かった。これらの結果からこれまで再入院を繰り返す患者といわれて

	いた患者は、本事業によって再入院を軽減できることが明らかとなった。
事業主体	〒862-0976 日本専門看護師協議会事務局, 宇佐美しおり (熊本大学医学部保健学科教授) TEL : 096-373-5470, E-MAIL : susami@kumamoto-u.ac.jp